

校長室だより

学校教育目標「学びを生かす子供」

八代市立龍峯小学校

校長 村嶋 博史



R3,9,27

NO,20

新調された「子供を守る家」の看板設置

9月15日（水）の朝自習の時間に、新調された「子供を守る家」の看板が設置してある家の場所について、地図等を用いながら、地区ごとに別れて集まった子供たちと確認しました。

今年度も八代地区における不審者事案が度々報告されています。そういう事案から子供たちを守る上で、この「子供を守る家」の取り組みは大変有効と思います。

「子供を守る家」の看板の新調にご尽力いただいた龍峯まちづくり協議会の皆様、また「子供を守る家」にご協力いただいた地域の皆様に心より感謝申し上げます。

今後、子供たちが助けを求めて来た際には、どうぞ保護していただくようお願いします。



研究授業を重ね、授業改善に努めています

9月15日（水）、校内研修の一環で、研究授業を行いました。今回は、1年の算数科の授業について研究しました。

本校では、子供が主語となる授業実践、いわゆる学力向上に向けた授業改善に取り組んでいます。具体的には、

- ①子供たちが、単元終了時の姿や学習過程を共有するような「単元デザイン」の工夫
- ②子供たちが、「なぜ」「おそらく」「知りたい」「やりたい」など、疑問をもったり予想したりして学習に取り組むような「導入」の工夫
- ③子供たちが、「やってみよう」「なるほど」「きっと」など、挑戦したり納得したりして学習に取り組むような「展開」の工夫
- ④子供たちが、「何ができるようになったか」また、「何をどのように学んだか」などを実感し、更なる意欲を高めて学習に取り組むような「終末」の工夫
- ⑤子供たちが、ICTの活用により、学ぶ意欲を高めたり、学習の理解を深めたりするような「ICTの活用」の工夫

に取り組んでいます。

今後も全学級で研究授業を行い、研究を重ね、子供たちに、今求められている力（※）が育つように努めていきます。

この他、熊本県が実施しています「学力向上アドバイザー事業」や八代市が実施しています授業改善研修も活用し、授業改善を目指しています。



※今求められている力とは……これからの子供たちは、グローバル化や情報化などによる社会の変化に対応し、また、自分たちを取り巻く様々な社会の課題に向き合い、自ら解決しようとする力が必要です。